

サマーホームステイ5泊6日の記録

サマーホームステイ 1日目 7月27日(水) 東北から石川県へ到着



東日本大震災で被災した宮城県と福島県の子どもたち79名を、石川県PTA連合会が招待しました。長時間のバスの移動でたいへんでしたが、子どもたちは元気に到着しました。宿泊先の「シーサイド松任」で、さっそく歓迎の式を開きました。ボランティアセンターの三辻委員が歓迎の挨拶を述べました。参加者を代表して、菊池結夢さんが「よろしくお願いします。」と元気よく挨拶しました。いよいよ6日間のプログラムのはじまりです。

サマーホームステイ 2日目 7月28日(木) 自然体験活動



二日目が始まりました。夜遅くまで部屋で盛り上がっていたグループもあったようですが、元気に活動開始です。この日は場所を白山市立白嶺小中学校に移して、自然の中で思いっきり楽しもうという計画です。ところが山の天気は移り気で、小雨模様。室内でのメニューを中心に「白山麓ふなもり自然塾」のボランティアスタッフが活動をリードしてくれました。内容だけをざっと紹介します。「枝笛作り」「昆虫教室」「集団遊び」「組みひも作り」「読み聞かせ」等々、学年ごとに別れて年齢に応じた活動をしました。



昼食は子どもたちの大好きなカレーライスです。ぶどう、とうもろこし、アイスキャンデーなどたくさんの差し入れがあり、豪華な昼食になりました。午後は晴れ間をぬっての「虫取り」「化石探索」。そして楽しみに待っていた「プール遊び」。「今年初めてプールに入ったよ!」という子どもたちがたくさんいて、プールにはいつまでも歓声が響きました。その後は「森の音楽祭」です。大学生のお兄さん、お姉さんも応援に来てくれて、一緒に「マルモリ」のダンスをしました。みんなで歌った「ふるさと」の歌声は心に沁みました。最後は「西瓜割り」で締めくり、みんなで美味しいすいかをおなかいっぱい食べました。

この日の活動は多くの方々の善意により、たいへん充実したものになりました。たとえば、カレーライスのご飯は安村さんという方のご寄付です。ある日事務局に電話をくださって、「そうか、ご飯が必要なんか。わし、何とかしてあげる。」という話から、100人分のご飯を用意くださったのです。おそらく近所の方何人にも声をかけ、手分けしてご飯を炊き、届けてくださったに違いありません。その他上げればきりがありませんが、本当にたくさんの方々にお世話になりました。「わたしたちは一人ではない。支えあって生きている。」ということを実感した出来事でした。このことは被災地の子どもたちにもきっと届いたことでしょう。



宿舎へ戻って夕食後、花火大会をしました。昼間の活動の疲れも見せず、外で思う存分花火を楽しみました。その後部屋へ戻って自分の家族へ葉書を書きました。昼の活動や夜の花火の楽しかった思い出を1枚の葉書に込めておうちへ届けました。

サマーホームステイ 3日目 7月29日(金) 宿泊施設からホストファミリー宅へ移動



1泊目、2泊目の宿泊施設「シーサイド松任」の様子です。日本海の近くにあり、天気がよければ海に沈む夕日を眺めることができます。海浜公園のすぐそばで、広々とした芝生の公園に隣接しており、のんびり散歩しても気持ちがいいところです。食事も「おいしい」という子どもたちの評価でした。初めて出会った子ども同士でもすぐに仲よくなり、新しい友達がたくさんできました。



いよいよホストファミリーの方々との対面です。どの子ども前の晩はどきどき、わくわくしていたようです。ちょっぴり緊張しながらも、元気よくそれぞれのお宅へ分かれて行きました。今回のプログラム最大の楽しみである2泊3日のホームステイの始まりです。

サマーホームステイ 3日目 7月29日(金) ホームステイ
ホストファミリーと過ごす

サマーホームステイ 4日目 7月30日(土) ホームステイ
ホストファミリーと過ごす

(最後に書いてもらった寄せ書きにはホームステイの楽しかった思い出がいっぱい書いてありました。子どもたちには忘れられない2泊3日だったようです。)

サマーホームステイ 5日目 7月31日(日) 県内観光地巡りとお別れパーティー



5日目の朝です。ホームステイ先での楽しい思い出を胸に、再び全員が集まりました。集合場所の地場産業振興センターには、ホストファミリーの方々も大勢見送りに来てくれました。いつまでも名残を惜しみつつ、最後の活動メニューに入りました。まずはエコハウスの見学です。太陽光や風力を利用した発電の様子などを熱心に見学しました。



石川県へ来た人が必ず訪れる観光名所といえば「金沢城」と「兼六園」です。子どもたちにも旅の思い出に是非見学してほしいというわけで、見学コースに取り入れました。観光ボランティアの方の説明を聞きながら、園内を巡りました。中学生や男子児童には建築工法に関心を示す子もいました。また、美しい木々や雄大な造形美に見入る子どもたちもたくさんいました。



昼食は「加賀料理」(子ども向けにアレンジ)を味わってもらいました。いろいろな料理が並び、どこから箸を付けていいか迷うほどです。目と舌の両方で金沢を堪能した半日間でした。



午後は「いしかわ動物園」の見学です。グループごとに自分たちのお気に入りの動物たちを自由に見て回りました。夕方近くだったので、ライオンやトラなどは昼寝から目覚め、さかんに動き回る様子を見ることができ、子どもたちも満足したようです。

この日の活動は「石川県建設業協会」のご厚意によるものです。経費の負担、スタッフの応援など、全ての面においてお世話になりました。感謝申し上げます。なお、「石川県建設業協会」のホームページでも活動の様子を見ることができます。動画もありますので、是非のぞいてみてください。リンク先は下記URLになります。

<http://www.ishikenkyo.or.jp/homestay/>



石川県最後の宿泊先は「たがわ龍泉閣」という温泉地のホテルです。最後の夜を惜しみつつ、「お別れパーティー」を開催しました。「九谷太鼓」の勇壮な演奏で幕を開けました。迫力ある演技に思わず引き込まれました。続いて本県の長野ボランティアセンター委員長、宮城県P連の小平前会長の挨拶、生涯学習課清水課長補佐の乾杯と会が進みました。参加者を代表して5名の子どもたちからもスピーチをしてもらいました。石川県で過ごしたひとつひとつの出来事がよい思い出になったようです。ホストファミリーの方にもたくさん出席していただきまし

た。その方々からもスピーチをいただきました。「あっという間の二日間だった」という言葉に、迎える方も楽しい日々だったことが推察されました。大広間のあちこちにホストファミリーとの交流の輪ができました。ホストファミリーのひとりであるガートさんからは、歌と踊りのパフォーマンスもあり、楽しくなごやかなパーティーとなりました。

サマーホームステイ 6日目 8月1日(月) 石川県を離れ、ふるさと東北へ



楽しかった思い出を胸に、ふるさと東北に向け、石川の地を離れていきました。見送られる子どもたち、見送るホストファミリーとボランティアスタッフ。それぞれの心の中にかげがえのない何かを残した「サマーホームステイ」でした。

最後に参加者の家族から届いたお便りを紹介します。

今回この「サマーホームステイ」に参加させていただき、久々に野外で思いっきり活動したり、この夏初めてのプールに入れたり、美しい海を見たり、人の温かさ、ホームステイ先の家族の皆様との心温まる交流で、子ども達がどんなに楽しい時間を過ごせ、笑顔になり、リフレッシュできたことか、ありがたい想いで胸がいっぱいです。本当にありがとうございました。

ご準備等、本当に大変だった事と思いますが、心より感謝申し上げます。

帰ってきた子ども達の口から「楽しかった・・・」とまず聞いて、本当によくして頂いてきたんだなあと思いました。そしてリフレッシュし、笑顔の子ども達の姿を見て、親としてありがたい思いでいっぱいです。

「第2の故郷みたい・・・」と子ども達は言うておりました。ホストファミリーのY様宅でも、大変温かく迎え入れていただきまして、何度にもなりますが、これ以外の言葉が見つかりませんので、ありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。

人の温かさや新たな出会い、美しい自然等、大変貴重な経験をさせていただきまして、ありがとうございました。石川の皆様の温かな思いを十分に感じ、子ども達も私共もこれからまた「がんばっていこう!!」という活力になりました。(感涙です・・・) テレビで「石川県」と聞くと、ばつと反応する家族になりました。(笑)

このたびは本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

(父母より)

サマーホームステイでは、大変お世話になりました。久しぶりに、とても楽しく過ごすことができました。石川県の皆様の優しさや温かさを忘れません。2学期もがんばります。ありがとうございました。石川大好き!

(参加生徒より)